

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	いちばん星 三之丸校		
○保護者評価実施期間	2024年 1月 4日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2024年 3月 1日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 26日		

分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	年齢層の幅が広い縦割り支援	集団活動を通して、異年齢児との関わりが持てる環境を設けている。	年齢が大きい子たちの頑張りや活動を、年下の児童にしっかり伝え、「大きくなったら〇〇が出来るようになる」「大きくなったら、〇〇するんだ」目標が持てるような取り組みを行っていく。
2	IT療育での支援	自発的に目標を持って取り組めるよう、個々にあったソフトを提案したり、誰でも取り組めるよう資料の準備をしている。	お互いの作品や、頑張りを認め合えるような場を用いて、児童同士が自発的に目標設定出来たり、新たな事を発見できる環境を設けていく。
3	保護者への支援	子どもの困り感を保護者と一緒に向き合い、状況に応じて学校との連携や相談支援事業所との連携を行っている。	児童だけでなく、保護者の様子をしっかりと見ながら、いつもと違う様子が現れた場合には、その様子見落としをせずに声かけをしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の業務負担と人員配置の課題	職員の配置は基準を満たしているが、利用者の増加、児童の長期休暇に伴い負担が増えている	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の負担軽減のための仕組み(シフト調整、チーム支援体制、定期的な面談やフィードバックの場を設け、職員が働きやすい環境を作る。)を整える ・支援記録をデジタル化し、手書き業務の削減する
2	利用児童の増加に伴い待機児童の増加	利用者増加に伴い業務が増え、事業所での受け入れが困難になっている	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所の紹介を行う ・事業所利用までの手続きや流れの説明を行う ・必要に応じて相談支援事業所の紹介を行う
3	児童の活動や支援に対する準備	物価の高騰によりクッキングの材料、おやつ購入、外出時の費用など保護者負担の増加	<ul style="list-style-type: none"> ・コストパフォーマンスの良い活動を検討 ・材料購入のため低コストの店舗をネットや口コミなどでピックアップ

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 いちばん星 三之丸校

公表日 2025年2月28日

利用児童数 50

回収数 32

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	7	0	0	思い切り動けるスペースが確保されている。 活動場所に余計なものを置かないなど安全面に十分注意しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	28	4	0	0	何人かで見守っていて助かる。 適正な人員配置で子どもたち一人ひとりに寄り添った支援を提供しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	16	2	0	危ないところがなく配慮されている。 施設内は段差はほとんどなく安全面に配慮しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	7	0	0	清潔に保たれている。 一人になれる場所が数か所あると良い。 毎日の清掃を行っています。 児童の状態にあわせ個室での対応もしております。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	4	0	0	専門的な職員が配置されており安心。 職員間での情報共有を行い、子どもたちにあわせた支援を心がけています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	5	0	0	パソコンを使った活動をしてきている。 タイピングが上達したと嬉しそうに話してくれる。 子どもたちの好きや得意を伸ばせる支援に努めてまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29	3	0	0	ニーズや課題を考えて作成されている。 話す機会がありわかりやすい。 子どもたちにワクワクしてもらえるような支援計画を作成してまいります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	3	0	0	状況や課題を理解してくれ支援してくれていると思う。 保護者、子どもへの聞き取りを行い、一人ひとりにあわせた支援計画を作成してまいります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	3	0	0	子どもの過ごした様子などをノートや話で伝えてきている。 職員間での情報共有を行い、統一した支援ができるよう努めてまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	3	0	0	色々な楽しいことや経験になるような活動をしている。子どもが自分ですることを決め活動出来ている。 今後とも子どもたちが楽しく伸び伸びを過ごせるように工夫してまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	15	6	0	交流されているが把握できていないが色々と考えてきている。 ご希望があれば、交流や活動の機会を検討します。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32	0	0	0	利用開始の際、こちらが長々と話をしたが聞いてくれた。 ご契約時には丁寧な説明を心がけております。必要に応じて随時説明させていただきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32	0	0	0	いつも丁寧にきちんと説明してもらっている。 計画作成時には説明を実施しております。必要に応じて随時説明させていただきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	31	1	0	0	連携がとれるように機会を設けてくれる。 不定期に講師を招いて家族参加できる活動を行っています。ご希望があれば、その他研修も検討します。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	29	3	0	0	困ったことがあるたびに相談させてもらい感謝している。送り迎えのときにいい。 連絡帳、電話、面談などにて出来る限りの情報共有、理解を深めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	5	0	0	気軽に相談していただけるように保護者とのコミュニケーションを図り、より良い支援に繋がっております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	3	0	0	何かあったときには話を聞いてくれて助かっている。 寄り添った支援を今後も心がけてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	12	10	0	支援されているかわからないが、特に必要性を感じていない。 ご希望があれば、保護者会を開催するなど交流の機会を検討してまいります。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	7	0	0	子どものことを考えて意見を聞いて対応している。苦情は言ったことがないが、子供のニーズにあわせて迅速に対応してくれ安心して通わせることが出 いつも話を聞いてくれ情報伝達に配慮されている。LINEがあり話がしやすい。連絡帳で活動の様子が伺えるので安心	些細なことでも見逃さず、迅速に保護者に報告するなど苦情になる前に対処できるように心がけております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31	1	0	0	LINEがあり話がしやすい。連絡帳で活動の様子が伺えるので安心	電話、面談でも相談支援を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	30	1	1	0	いつも活動の様子がわかるように見れて安心している。次回の活動を教えてく	ホームページで日々の活動のや子どもたちの様子を発信し、行事予定などはLINEにてアナウンスしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	5	0	0	必要なこと以外に情報は使用されていない。それぞれの情報を適切に管理して	全職員で徹底し、今後とも十分に注意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	6	0	0	最初に詳しく教えてもらった。訓練に参加したことがないのでわからない。	各マニュアル策定と職員への周知を行っています。必要に応じて随時、保護者に周知・説明していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	12	0	0	定期的に避難訓練をしている。利用日が少ないためよくわからない。	年に2回、地震と水害、火災の防災訓練を実施しています。またBCPをもとにした訓練も実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	6	0	0	感染症など流行していたら気にかけるよう声をかけてくれる。	保護者とも連携をとりながら、安全確保に努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	7	0	0	迅速に対応してくれるので安心していきます。	安心して通っていただけるよう迅速な対応を心がけております。事象は職員間で共有し再発防止に努めております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29	3	0	0	安心して通えるように考えて支援してもらっている。	子どもたちとのコミュニケーションを大事にし、安心して過ごせる場所であるよう努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	29	3	0	0	いつも楽しみにしている。好きなあそびがあり楽しみにしている。友達、先生	愛情、包容力、忍耐力を持って子どもたちの支援サポートをしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	2	0	0	自分で予定を立てて活動しており、見通しがついて快適に過ごしていると思う。	お子さま、ご家族の皆様のために、目いっぱい支援させていただきます。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	いちばん星 三之丸校				公表日	2025年 2月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	活動が行いやすいように広いスペースを設けております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	基準人員に加えて2名以上配置しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	コーナーごとに分け生活しやすい環境に設定しています。段差はほぼありません。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	療育前には清掃を行い、清潔を保っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	個室もあり、児童の情緒によって利用できるようにしております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	活動後に振り返りを行い、職員間で情報共有をしております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	評価表でいただいたご意見を真摯に受け止め、日々の業務改善に繋げてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	普段から意見を発言する機会が多くあり、改善に繋がられています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	第三者委員を設置しております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	定期的に社内研修を行い、1年に1回以上外部研修に参加しております。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0	6		2月に公表予定
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	利用開始前にアセスメントを行い、細かくヒヤリングした上で支援計画を作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	児童の支援について、職員間で意見交換を行い最善策の検討をしております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	療育前に情報共有し、職員全員で統一された支援を心がけています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	必要に応じて学校や相談支援事業所と連携をとっております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	全職員で話し合い、様々なプログラムを作成しております。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	季節の行事や外出プログラムなどを取り入れています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	基本は個別にて対応しており、状況に応じて小集団にて対応しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	療育前に、職員間で情報共有や伝達事項の確認を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	サービス提供時間終了後、当日通所した児童についてスタッフミーティングを行い、翌日以降の支援に活かしております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	活動記録表を用いて支援の検証、改善につなげております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的にモニタリングを行い、児童一人ひとりにあうように計画の見直しを行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	自立支援、創作活動、地域行事への参加、余暇を楽しむなどの支援を行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	児童にスケジュールを立ててもらい、自己選択、自己決定の機会を設けています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児童発達支援管理責任者を中心に参画しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	協力医療機関を設け、連携して支援できるようにしております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	年間計画、行事予定等の交換は一部保護者の協力もいただいておりますが、下校時間の確認や連絡調整等は行っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	児童発達支援事業所等の情報共有を行っております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	相談支援事業所と支援内容の情報共有を行い移行に繋げております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	定期的に設けられている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	地域マルシェや公園各地にて地域の子どもと活動することがある	事業所単独での交流機会を作るのは非常に困難かと思われます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6		協議会に入っておりません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時や保護者との連絡帳、または個別での電話対応、面談にて状況をお伝えしております。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	講師を招いて家族参加できるプログラムを行っております。専門的なペアレント・トレーニングではありませんが悩みや不安解消のための助言やアドバイスを行っております。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	利用開始前に利用契約、重要事項説明書にて詳しく説明しております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	定期的に児童、保護者に聞き取りを行い意向を確認しております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	計画作成時には、保護者に直接支援内容の説明を行っております。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	保護者からの相談があれば、必要に応じて面談や電話対応にてアドバイスを行っております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		今後、要望等があれば検討してまいります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	これまでに苦情はありませんが、必要に応じて対応できるよう受付窓口を設置しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	定期的に予定表や活動内容を発信しております。個人情報に留意しながらSNSで情報発信をしております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	全職員にて徹底した管理をしております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	保護者や子どもの状況に合わせ、相談できる環境を設けております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		事業所主体の行事は行っていませんが、地域行事への参加はしております。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	保護者には契約時に説明をしております。定期的に訓練を実施し、迅速な対応が出来るようにしております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	策定されたBCPをもとに、訓練、研修を実施しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	保護者への聞き取りをもとに確認、対応しております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	医師の指示によるアレルギー情報については、保護者により細かくヒアリングの上、対応しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	活動案を作成し、事前の安全管理に努めております。安全管理について職員間での情報共有も行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	保護者とも連携をとり、安全管理に努めております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハット、事故報告書は別途ファイルにて作成し職員間で共有しております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	入社1か月以内の虐待基礎研修及び1年に4回の虐待研修を社内または社外にて実施しております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	現在までに身体拘束を行ったことはありません。身体拘束適正化のための指針を作成し、職員研修も行ってまいります。		